

月曜日のマナ

2020.12.14

## 全ての良いリーダーには "足の引きずり"がある

おそらく皆さんは創世記 32 章に出てくるヤコブの話をご存知でしょう。ある晩、将来イスラエルの族長となるヤコブは、謎の男と対峙して二人は何時間も格闘しました。夜も更けるにつれ、その神のみ使いがヤコブの腰を打ち、ヤコブは戦いに敗れました。ですが、にもかかわらず、神のみ使いはヤコブを祝福したのです。そして、その日からヤコブは"足を引きずって"歩くようになりました。この時まで、ヤコブは常にトップに立つ方法を見出していましたが、この時初めて打ち負かすことができない相手に出会ったのです。ヤコブは完全に打ちひしがれましたが、このことで彼は良くなりました。

足を引きする:では、"足を引きする"とはどのような意味でしょうか?30 年以上もの間、経営幹部の皆様に対するコーチングに従事してきた中で、私はヤコブのようにトップに立つ方々と多くの時間を過ごしてきました。絶えず勝ち続けるということは、私たちの自信と確信を、間違った人間に一、つまり私たち自身に置くということにつながりかねません。そんな中、わたしが出会った中でも特に優れていたリーダーたちに、ある特徴があることに気がついたのです。彼らはみな、"足を引きずり"、神との戦いによって傷を負い、そしてその戦いに敗れていました。

"足を引きずる"とは、霊的、感情的、精神的、そして時に肉体的に、私たちが人生の最高位に在すべき存在ではないということを認識することでもあります。早いうちから、わたしは世のすべてのことを知っている訳ではなく、そしてすべてができる訳でもなく、また人としてそのような存在である必要がないことを知ることができるに越したことはありません。わたしのとある友人は、「誰が人生を支配する権利を持っているのか」という問

いが、私たちすべての人間にとって鍵となる 重要な問題であると言っていました。ヤコブ は、誰が彼の人生の主権者であるかをめぐり、 神と格闘しました。自分の人生を何年もの間 支配し、順調にいっているかのようにも見え ました。そして、多くの人が自分自身で認め ないように、ヤコブ自身もまた神をまるで必 要としないかのように行動していたのです。

神との格闘: もしかすると、あなたもまた 人生のすべての点において勝つことだけに歳 月を費やし、突然、それを失ったかもしれま せん。または、数年前に私に起こったように、 死を連想させるほどの辛い病気で苦んだかも しれませんし、何ヶ月も費やして立てた企業 戦略がうまくいかなかったり、あなたがいつ か座りたいと心から願っていた役員室が、そ の地位が、他の誰かの手に入ってしまったか もしれません。誰よりも一生懸命に働いたに も関わらず、チームをうまく作れなかったり、 結婚や子どものことなどの家族計画が、あな たが望んだようにならなかったかもしれませ ん。しかし、これらの出来事を別の表現で言 い換えるとすれば、何かが、あなたが前進し ようとする勢いを止めたとも言えるのです。

「誰が人生を支配する権利を持っているか?」という問題の場合、それは常に、全能者である神とレスリングのように格闘することを伴うということです。あなたが神と戦うときにあなたは足を引きずりはじめ、そしていつものように神は勝つことを決めるのです。

<u>足を引きずる必要性:</u>なぜ "足の引きずり" が必要なのでしょうか?それは、このことにより人間らしさと謙虚さという二つの点を結果的に得ることができるためです。この二つは結びついていて、どちらかを失うと、悪いことが起こります。私たちは、まるで自分自身がスーパーマンであるかのようにふるまい、人間らしさを失った人たちを知っています。こう聞くとまず、アスリートや映画俳優、説教者、経営者、CEO などが思い浮かびますが、実はこれは私たち誰にでも起こりうることなのです。



"足の引きずり"により、得ることができる二つ目の副産物は謙虚さです。神と格闘して負けた人たちにこの特徴を見ることができます。そして実は、私たちが神と格闘するまで、人と対立することも避けることができるため、これは良いことでもあるのです。神との戦いに敗れ、砕かれた経験をすることの代わりになるものなど存在しません。

「砕かれた」というと、私たちに何か問題があるかのように聞こえますが、砕かれることが良いことであるとすればいかがでしょうか?聖書では、この砕かれた箇所や弱さが、神が輝かれる場所であるとも語っています。

詩篇 51 篇 17 節では、「あなたがお望みなのは、悔い改めて、くずおれたたましいです。ああ神よ。 罪を深く後悔して砕かれた心にこそ、 あなたは目を留めてくださるのです。」と述べてあります。わたしが知っている最高のリーダー達は、足を引きずっています。自分たちがどのような人間であるか、その人間性を認識し、謙虚に歩んでいるのです。敗北や落胆、その他様々な経験を通し、誰が支配する権利を持っているかを知っているのです。

## もっと深めるために:

1. あなたの周りで、身体面において傷や痛みを抱えている方をご存じでしょうか?その方が抱えている課題が、どのようにその方自身に影響を与えているでしょうか?

2. グレイブス氏が説明しているような"足を引きずる"点についてはいかがでしょう。 このような引きずりをあなた自身が抱えていますか?または、抱えている方を知っていますか?その影響はどのようなものでしょうか? 3. 神と格闘した経験がありますか?もしかすると、今ちょうどそのような渦中にいらっしゃるかもしれません。振り返ってみて神との格闘は今までのところどのようなものでしょうか?

4. 神と格闘した中で得たこの "足の引きずり" は、私たちの人生においてどのようにポジティブな影響を及ぼすでしょうか?

参考聖書箇所リストです。参照ください:詩篇 6:1-3; イザヤ書 40:29-31; 1 第一コリント 1:27-31, 9:24-27; 第二コリント 12:7-10

英語版 Monday's Mana はこちら

この発行はスティーブン・R・グレイブス氏によって書かれた物です。月曜日のマナ®はCBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動では無く、超教派で、1930年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者ヘイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。

©2020 年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。